

平成 22年度 報告書

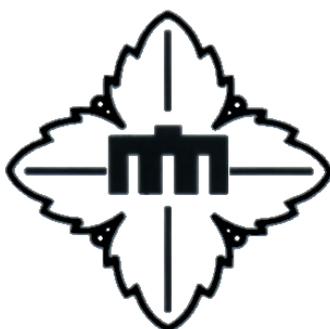
平成 21・22年度「大学教育・学生支援推進事業」研究指定
【テーマB】学生支援推進プログラム

テーマ

ニキャリアカルテを用いた生涯就職支援システムの構築ニ

報 告 書

～地域に必要とされる大学教育・学生支援を目指して～



平成 23年3月
学校法人高田学苑 高田短期大学

目 次

1.	平成21年度「大学教育・学生支援推進事業【テーマB】(学生支援推進プログラム)」	
	選定取組概要『キャリアカルテを用いた生涯就職支援システムの構築』	1
2.	平成22年度大学教育改革プログラム	2
	1. 合同フォーラム発表資料	2
	2. キャリアカルテシステム利用	18
3.	平成22年就職先及び学生の意識調査結果	20
	I-1. 【子ども学科：幼稚園・保育園向け】教諭・保育士の採用等に関する アンケート調査結果	20
	I-2. 【人間介護福祉学科：施設向け】介護福祉士の雇用・育成に関する アンケート調査結果	31
	I-3. 【オフィス情報学科】「採用動向および性別にみる業務職域の変化」 アンケート調査結果	36
	II-1. 【子ども学科・人間介護福祉学科：卒業生向け】キャリアに関する アンケート調査結果	48
	II-2. 【オフィス情報学科：卒業生向け】キャリアに関する アンケート調査結果	56
	III-1. 【全学科：就職先向け】本学卒業生に対する能力評価結果	68
	III-2. 【全学科：卒業生向け】自分自身の能力に対する評価結果	76
	III-3. 本学卒業生に対する能力評価結果と卒業生の自己評価の対比	82
4.	資料編	84
	1. 幼稚園・保育園に関するアンケート用紙	84
	2. 介護福祉施設に関するアンケート用紙	88
	3. 企業に関するアンケート用紙	92
	4. 卒業生に関するアンケート用紙	96

Ⅱ. 平成21年度「大学教育・学生支援推進事業【テーマB】(学生支援推進プログラム)」

選定取組概要 『キャリアカルテを用いた生涯就職支援システムの構築』

本事業は、学科の専門分野を修め、短期大学士にふさわしい学士力ある学生を育て、学生のニーズに応じた職場選びと就職を実現する就職支援システム(キャリアカルテ)と運用体制を構築し、生涯を通じて満足度の高い就職支援を実現し、就職率、就職満足度、職場定着率を向上させることをねらっている。

- ①キャリアカルテにおいて、各学生の学習状況や資格取得、インターンシップ歴、希望業種や職種、進路指導歴などのデータを管理し、アドバイザー教員及び学生支援センターが一貫した就職支援を実現し、就職支援の充実を図り、学生は就職活動における企業情報や試験情報などのデータを供覧できるようにした。さらに、卒業時だけではなく卒業後も本システムを活用し、生涯を通じた就職支援を進めている。
- ②卒業生について、卒業後3年間追跡調査により、就職先の就職満足度を把握し、学生の就職支援の基礎データとして活用を進めている。また、調査結果を教育活動の取組改善に反映し、学士力の向上に繋げている。
- ③就職先の企業、幼稚園、保育園、施設等に調査を行い、学生に期待する学士力や人物像を把握し、教育の取組改善に努めている。
- ④GPA制度の導入により、学士力の測定や学習の軌跡を可視化し、学生は自らを顧みて、自己能力のより一層の向上を図るよう進めている。
- ⑤学士力評価及び就職支援の評価を実施し、この評価データについて学内へ提供できるように進め、これらの状況把握により今後の学内活動等の改善に繋げ、学内全体の取組となり、学生における本学の大学生活の充実になり、本学の満足度が高まる。
- ⑥年度末に研究成果報告会を開催し、本プログラムの進捗度や取組による成果等を公表し、今後の普及とあわせ、他大学等の実践活動との比較・検討を行い、今後の手法の開発改善や評価のあり方の改善に活かしていくように進めている。また、この成果を保護者、卒業生に周知するとともに、それぞれの立場からの意見を聞き、運営改善に努めていく。
- ⑦キャリアカルテの機能改善に努め、本システムがより使い勝手の良いものになり、学生や教職員をはじめとする関係者の利用頻度が向上するようにしている。
- ⑧キャリアカルテのねらいを理解して効果的に活用することを関係者に促し、教職員と学生がツールとしてのシステムを活用することで、互いがつながり感を持ち、一人ひとりの学生に対峙した学生指導、就職支援等の充実を進めている。